青研かわらばん

発行所　長岡鉄工業青年研究会
発行責任者　阿部修平
編集責任者　山本友紀
編集者　鈴木敬子・石田和人・田中祐樹・橋本直輝・本田恵亮
事務局　新潟県長岡市表町３丁目１番８号　リナシエビル３　８階　長岡鉄工業青年研究会　TEL 0258－36－6982
印刷所　㈱北越時報社　長岡市住吉２丁目５番13号

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
二〇二三年度会長
清水一裕

二〇二三年度長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただくことになりました、株式会社清水熔接板金所の清水一裕です。一年間、何卒よろしくお願い申し上げます。

歴史ある当会の会長を務めさせていただくことを心から光栄に思うとともに、大変身の引き締まる思いでございます。当研究会は会員の相互扶助の精神に基づき、相互間の親睦、情報交換、技術の向上等会員のために必要な共同研究を行い、長岡鉄工業の発展に寄与することを目的としております。我々会員一同長岡市地域に貢献することを念頭に置き、技術者として、また次世代経営人材として成長するべく当研究会の活動・事業を行うことにより日々精進しております。諸先輩方が築いてくださった伝統や教えを受け継ぎ、歴史ある学びの場をこれからも継続し発展させられるよう精一杯努めてまいります。

さて、二〇二〇年から流行がはじまった新型コロナウイルス感染症により世界が大混乱に陥りました。ワクチン接種がひろまりウィズコロナに切り替えようやく経済も回復基調となっておりましたが、中国のゼロコロナ政策により世界中のサプライチェーンに大きな影響を与え原材料や部品が安定して供給されなくなり我々製造業は多大な影響を受けております。そしてロシアのウクライナ侵略という二一世紀の世界史が大きく変わるような出来事が起きてしまいました。ロシアに対して行われている経済制裁の影響により原油の供給が減少し、物価はまたたく間に上昇。世界的なインフレーションが加速し、それにともないアメリカが行った利上げにより日本は円安となり日本経済は極めて深刻な事態に陥っております。誰もが予想だにしていなかった事が起こり、世の中は常に目まぐるしく変化しております。これからの中小企業はいち早く世の中の動向を感知し対処して経営に反映していくスピード感と、その変化に対応していく成長力が重要だと思い本年度は鉄工青研の活動を通して会員の皆様にはそういった感覚を磨いていただき自社で当研究会の経験が活かせるような事業を展開していきたいと思っております。

一、人材育成事業

このような先が読めない不透明な状況だからこそ周囲の変化をいち早く感じるためのセンサーである気づきと、その気づきをフィードバックさせ自己成長に繋げていく力がこれからの企業人として重要だと思い本年度の活動テーマを【気づき築く】とさせていただきました。

気づくというのは危機を感知するセンサーであると共に自己成長におけるファーストステップでもあります。鉄工青研の活動を通して会員の皆様には自己成長のきっかけである気づきを与え、そこからどう対処するかと変化させいくかにより学びが起きます。それにより経験、知識、人脈などを築いてもらい、企業人としてさらに成長していけるよう活動してまいります。

二、会員増加への取組

昨今大きく取り上げられている経営課題として少子化が進んだ現代日本においては人材を確保することが困難という問題を抱えております。当会もその影響を受けており二〇二三年度の会員数は二十四名です。これ以上の会員減少は会の存続が危ぶまれてきます。

本年度は現役会員が一丸となり新規会員獲得に向け真摯に取り組んでまいります。新型コロナウイルスの影響により活動を自粛していたため関係者各位の皆様との交流が希薄になり当研究会の活動をアピールする機会が減少しておりましたが、コロナ禍での生活様式の定着や流行当初に感じられた閉塞感などが緩和されてきたため本年度はOB企業の方との合同セミナーを企画する予定です。当研究会にご興味がある方、次世代の企業経営に携わる方、どうぞ新たなネットワーク作りの場としてご活用いただければ幸いです。ぜひご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

三、地域貢献、渉外事業

本年度も地域貢献事業として、OB会員の皆様や、趣旨にご賛同頂いた皆様、そして会員企業のご協力のもとで行われる「屑鉄集め」を実施いたします。本事業を実施する際には、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

八月一日に行われる「長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御」に参加いたします。感染拡大防止を徹底した上で、伝統あるオリジナル神輿と纏と共に当会のPRをしてまいります。

また、本年も新町小学校様主催の新町もののづくりワークショップに参加し、多くの子どもたちにものづくりの楽しさを伝え、鉄工業に興味を持っていただきたいと思っております。

県内産業をより盛り上げていくため、他団体交流事業を予定しております。柏崎青年工業クラブ、小千谷鉄工電子協同組合木曜会、中越鋳物青年研究会の若手団体と共に、交流イベントを行い、意見交換や情報の共有など親睦を深められるような企画を計画いたします。

一年間、以上の事業を中心として当会の運営を行ってまいります。会員数の減少など会の存続にかかわる非常に頭の痛い問題を抱えております。会員一同でどうこの問題を解決するのかが今の我々の課題でございます。その一歩としましてまずは我々がより会を楽しむということが重要だと思っております。楽しい場とはそれだけで人を引き付ける魅力を持っております。そういった皆様が楽しめる事業展開を計画しておりますので、積極的な事業へのご参加をお願いいたします。一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
二〇二二年度会長
阿部　修平

二〇二二年度会長を務めさせていただきました、株式会社阿部商店の阿部修平でございます。一年を振り返りますと、本当に熱意のある役員・会員の皆様に助けられた、大変幸せな会長職の一年でした。

五十一周年という、新しいスタートの今年度はテーマに『深根固柢』という言葉を選び、根本を固めることを念頭に始まりました。各委員会からは、コロナ禍からの再生の過渡期という判断の難しい中で、活動テーマに沿った素晴らしい事業を展開していただきました。この一年間で積み上げたもの、形にしたものや学んだことは決して無駄になる事は無いと思います。

鉄工青研は失敗しても良い場なんだから、恥をかいて学べばいいねっか、と先輩方からよく助言いただきました。もちろん、前提として失敗しないための入念な準備は必要です。そのために様々な企業の色々な立場の人間が集まって知恵を出し合い、協力しながら活動していく鉄工青研という組織は素晴らしい場だと感じています。そして、会員各自が自社で悩んでいることは、大抵は他の企業でも同じ悩みを抱えていることが多いです。そういった、同じ悩みを共有して解決に繋げられることも鉄工青研の魅力の一つです。これから鉄工青研に入会していただける方は、なるべくなら早い内から入会して四十歳までという期間限定の中で多くの仲間、経験を得ていただきたいと思っております。

私個人としましても、企業での立場や鉄工青研に入会出来たことは貴重な自分だけの経験だと思い、役員推薦のお話があった際は前向きに挑戦させていただきました。今までの経験は確実に私の根っこづくりに良い影響を与えております。

心残りとしては、孔球の方を真面目に基本に沿った練習に取り組み、一年が終わる際には恥ずかしくない打数で周れるようになった、やはり基礎基本は大事なのだと、この場をお借りしてご報告したいと目論んでおりましたが、全然思惑通りにはいかず、相変わらず恥ずかしい打球数を重ねております。

二〇二三年度は清水会長の下、一致団結して会の歴史を築いていただきたいと思います。私は二〇二三年度が卒業年度で、青研活動も残り一年ではございますが、会員数の積極的な増加へ向けて尽力してまいります。

最後になりますが、お世話になりました各関係機関・団体の皆様、ＯＢ会員の皆様、そして、一年間支えてくださった会員の皆様に改めて心より感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

委員会事業報告

総務委員会

委員長　山本　友紀

またここから新たな歴史が始まる発足五十一年目。大事な一歩目を踏み出すこの年に私は総務委員長を拝命いたしました。入会間もない頃に一度委員を経験していたとは言え、ほぼ初の要職を務める事が出来るのか、戸惑いながらも受諾した経緯を思い出しました。打診を受けた際に、私は私のやり方を貫きますがよろしいでしょうか、と伺ったところ、阿部会長からは山本さんなりの解釈で総務委員会を、ひいては会全体を正してほしいと言っていただきました。

総務委員会は言わば会全体の風紀委員としての役割も果たしており、私に与えられた責務は青研活動への熱量と経験値が年々尻すぼみになっていく昨今の青研内で、いかに会全体の問題と捉え当事者意識を持っていただくか、そこが要務と自身に命題を据え、過ごしてまいりました。大口を叩いている割に仕事が出来ていないではないか、その様に思われる事はまずあってはならず、自分自身に程よいプレッシャーを掛け続ける事で意識を保っておりましたが、完璧を期したつもりでも隙間からこぼれ落ちる事は山の様にあり、それを上手く拾ってくれたのが委員であり、役員であり、会員の皆様でした。意識改革など偉そうなことを言っていた私が一番それが必要な人間だったのです。今はそれを知ることができ、克服する事が出来ればさらに成長できる、そんな自身への期待感に幸せを感じております。

自分自身が一番しっかりしていなければならない思いに駆られ、スタンドプレーに走りがちだった私を正していただいた阿部会長をはじめ、会員の皆様、そんな私を支えてくれた副委員長と委員の皆様に心から感謝しております。これから先、何人もの方々が総務委員長を経験すると思いますが、悩んで、迷って、頼って、仲間と共に研鑽を積んでいただきたいと切に願います。

◆卒業式

二〇二二年四月九日㈯、割烹魚藤にて卒業式が行われました。本年は、卒業式及び懇親会を執り行うことが叶い嬉しく思います。卒業式当日が近づくにつれ、新型コロナウイルス感染者が増え、開催が危ぶまれましたが感染防止対策を講じるこ

とで、無事に卒業生を送り出すことが出来ました。二〇二二年度の初事業として、阿部会長が掲げる「交流の復活」が実現できたことは今後の事業を行う上で、幸先のいいスタートが切れたと思います。

課題としては、会話席の見直しの意見が挙がりましたので、委員会内で協議しコロナ禍での宴会形式の立ち回りの指標となるようにしてまいります。

御卒業会員　四名

小笠原　昭　範　様
讃　岐　恭　一　様
長谷川　　孝　様
南　　聡　史　様

青研会員　二十一名

（鈴木　敬子）

◆ホームページリニューアル

今年度総務委員会の重要事業として、年間を通じて取り組んだリニューアル事業は、波乱曲折の末、ようやく完成の運びとなりました。構想から制作に至るまで委員間での打ち合わせや製作業者との打ち合わせ、会員への意見の吸い上げなどを徹底して行い、細部に渡り利便性と発信性を追求した内容に仕上げる事ができました。今後は運用しながら実績を積み重ね、課題点や問題点を解決しながらより良い仕様へとアップデートされていく事を期待しております。

次年度総務委員会に滞りなく運営してもらえるようにマニュアルの作成や操作方法の指導など、万全の態勢で引き継げるようにしてまいります。ご協力いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。

（山本　友紀）

◆忘年会

二〇二二年十二月二日㈮、たこの壺にて忘年会を行いました。三年振りの開催となった今回の忘年会ですが、コロナ禍ではありましたが多くの会員に参加いただきました。久し振りの現役会員のみの集まりでしたが、皆様楽しい時間を過ごせたかと思います。クイズやじゃんけん大会などアトラクションもあり、大いに盛り上がりました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、今後も会員同士の交流の場が増えることを願いたいと思います。

（石田　和人）

◆臨時総会・合同新年会

二〇二三年二月三日㈮、ホテルニューオータニ長岡にて臨時総会と合同新年会を行いました。臨時総会は、次年度の人事が無事に決議されました。次年度委員長の多くが、所属する委員会が初めてのことで、今までにない視点で物事をとらえ、より充実した会にする気づきが増えることだと思います。これは、清水次年度会長が掲げる「気づき築く」に繋がり、個人としてではなく、会全体や自社で成長していく一年になると期待が持てました。

合同新年会は、三年振りの開催となりましたが、それぞれマナーを守り、この数年間の遅れを取り戻すかのような賑わいを見せ、ウィズコロナにおける新たな可能性を見出す宴席となりました。

久方振りの開催ともあり、課題も見つかりましたが、次年度以降に引継いで改善してまいりたいと思います。

臨時総会
　出席　　二十一名
　委任状による出席　　二名
（合計二十三名）

合同新年会
　ご来賓　　五名
　長岡鉄工青研歴代会長　　九名
　長岡鉄工青研会員　　二十二名
　中越鋳物青研歴代会長　　七名
　中越鋳物青研会員　　九名
（合計五十二名）

（鈴木　敬子・本田　恵亮）

◆定期総会・卒業式

二〇二三年四月八日㈯、割烹魚藤にて定期総会と卒業式を実施いたします。

渉外・研修委員会

委員長　高坂　諒

二〇二二年度の渉外・研修委員会は、私自身初めて委員長を務め、やる気と不安を抱きつつ、阿部会長が掲げた「深根固柢」をテーマに会員各々と、事業を通して関わる方々が新たな情報や技術に触

れ、成長できるような事業を行うことを目標にスタートしました。

コロナウイルスが世界的に流行しだし四年が経ちました。当会も通常通りの事業がままならぬ中できる限りの事業を取り組んで参りました。

まず初めに、五月と十月に長岡蒼柴ライオンズクラブけやき支部様・長岡大学レオクラブ様との共同事業として令和四年に創建三百年を迎えた蒼柴神社の参道整備を実施しました。一回目二回目共に天候にも恵まれ、他団体の方々と交流が図れる良い機会となり、今後も交流を継続していきたいと感じました。

次にレジェンド経営者から学ぶリーダーシップをテーマに、長岡大学の栗井教授からご講話いただきました。リーダーシップを発揮して成功した経営者の考え方や、リーダーとして大切な心得を解説いただいたことで、受講者の啓発に繋がる機会になった様に思います。懇親会ではコロナ禍での新たな取り組みとして、ローテーション方式にて講師との談話を行う形としました。全会員が栗井教授とお話しする機会を設けることで、有意義な時間を共有することができました。

そして五十五周年へ向けた記念品製作等での産学連携事業への発展を見据え、今年度は長岡工業高等専門学校との関係構築を目的として新たに交流を図るべく、高専ラボツアーへ参加しました。ＡＩやＶＲの活用・熟練技術の体系化などの研究課題に取り組まれていたほか、新しい材料や加工方法に関する研究など、今後の企業の方針や技術向上のヒントを得られた有意義なツアーであったと感じました。本事業を通して長岡工業高等専門学校との交流関係をより良いものとし、技術相談や企業の個別課題の解決などを積極的に活用し、共同の取組に繋げることで、鉄工業の更なる発展が期待できると感じました。

十二月には新潟市が推進する産学官連携による航空機関連産業支援の取組み「NIIGATA SKY PROJECT」の一環として結成された、航空機産業クラスターのＮＳＣＡ様を見学してきました。四社のご担当者様からご説明いただき生産工程における各分野の企業が集結し、優れた技術力を武器に一貫生産体制を構築し、厳しい品質管理体制のもと生産されている産業クラスターの特徴を学ぶことができました。また、現在の体制に至るまでに資格の取得、他にも様々な苦労があり、そこから設備や技術を向上させている様を知り、同様にものづくりを生業とする当会会員にとって大変刺激になったと思います。

最後になりますが、今年一年を振り返ると無知ゆえにご迷惑をかけた一年でした。三役・役員・副委員長や委員の皆様のお力添えが無ければ最後までやり遂げる事が出来なかったでしょう。助けていただいた皆様へ、感謝の気持ちで一杯です。

一年間、本当にありがとうございました。

◆リーダーシップセミナー

令和四年六月十七日㈮、アオーレ長岡の市民交流ホールにて、学校法人中越学園　長岡大学教授の栗井英大様を講師にお迎えして、阿部会長の方針である〝深根固柢〟をテーマに『レジェンド経営者から学ぶリーダーシップセミナー』と題した内容をご講話いただきました。

「当会の若い経営者、後継者にとって何が大切か」や「世の中の変化が激しい時代で経営者に必要なこと」を有名企業の経営者をモデルケースに解説いただきました。リーダーシップを発揮して成功した経営者の考え方やリーダーとして大切な心得、経営環境の変化への対応理論を分かりやすくご説明いただいたことで、受講者の啓発に繋がる機会となりました。

懇親会ではコロナ禍での新たな取り組みとして、講師の方との談話をローテーション方式としました。全会員が栗井教授とお話しする機会を設けることで、有意義な時間を共有できたかと思います。

最後に、事業の運営・設営にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

（池田　成輝）

◆長岡工業高等専門学校ラボツアー

令和四年八月二十九日㈪長岡工業高等専門学校にて、長岡高専地域連携推進センター様との共同主催事業として長岡工業高等専門学校ラボツアーを開催、参加いたしました。

機械工学をはじめ様々な分野の研究室を訪問し、研究内容を紹介していただきました。

社会が直面し始めている労働人口の減少や技術継承の難しさという問題に対し、ＡＩやＶＲの活用・熟練技術の体系化などの研究課題に取り組まれていた他、新しい材料や加工方法に関する研究など、今後の企業の方針や技術向上のヒントを得られた有意義なツアーであったと感じました。

本事業を通して長岡工業高等専門学校との交流関係をより良いものとし、技術相談や企業の個別課題の解決などを積極的に活用し、共同の取組に繋げることで、鉄工業の更なる発展が期待できると感じました。

共同主催の長岡高専地域連携推進センター様、また、お忙しい中ご参加いただ

きました会員の皆様に感謝申し上げます。

参加者　長岡鉄工業青年研究会会員　十二名
長岡高専技術協力会員
（村山　広）

◆蒼柴神社参道整備共同事業

長岡蒼柴ライオンズクラブけやき支部様・長岡大学レオクラブ様との共同事業として、令和四年五月十四日㈯と十月二十九日㈯の二回にわたり、蒼柴神社の参道整備を実施いたしました。

昨年度に引き続きの事業となりましたが道具類を増やしていただいたおかげで、より効率よく石畳の整備、参道脇の草刈りができたように思います。

昨年創建三百年を迎えられた歴史ある蒼柴神社でこのような事業を実施することができることはありがたいことであり、次年度も引き続き参加させていただければと思っております。

長岡蒼柴ライオンズクラブけやき支部様と長岡大学レオクラブ様、また、お忙しい中ご参加いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

（大塚　淳史）

◆企業見学研修会

十二月二日㈮に航空機産業クラスターのＮＳＣＡ（ナスカ）共同工場様を見学してきました。

ＮＳＣＡ共同工場様は新潟市が推進する産学官連携による航空機関連産業支援の取組み「NIGATA SKY PROJECT」の一環として結成された航空機産業のクラスター組織であり、座席の板金加工やエンジン部品の機械加工など航空機産業の実績を持つ企業が集結しています。

当日はそのうち四社の企業のご担当者様からご説明いただき生産工程における各分野の企業が優れた技術力を武器に一貫生産体制を構築し、厳しい品質管理体制のもと生産されている産業クラスターの特徴を学ぶことができました。

また、現在の体制に至るまでに資格の取得、他にも様々な苦労があり、そこから設備や技術を向上させている様を知り、同様にものづくりを生業とする当会会員にとって大変刺激になったと思います。

当日は雪が降りしきる中ではありましたが、ご多用のなか丁寧にご対応いただきましたＮＳＣＡご担当者の皆様、またご参加いただいた会員の皆様へ感謝申し上げます。

参加者　会員　十七名
（長谷川　雅利）

実行委員会

委員長　門倉　侑大

昨年度五十周年という節目を迎え、次の周年に向けて新たな一歩を歩み出す大事な年に実行委員長を務めさせていただきました。私自身、卒業年度ということもあり当会の為に何が残せるか考えたときに不安でいっぱいでした。ですが、阿部会長の掲げた「深根固柢」を念頭にこれからの会員が成長できるよう各事業を取り組むことで、私自身も成長できるチャンスと考え実行委員長という大役を務めさせていただきました。

卒業生追い出しゴルフコンペは、未だにコロナ禍ということもあり、表彰式のみクラブハウス内にて行わせていただきました。懇親会が行えなかったのは大変残念ではありましたが、ゴルフを通して卒業生の皆様と親睦が深められたことは大変うれしく思います。

夏季ゴルフコンペでは、新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた懇親会・表彰式を急遽取りやめる等、開催日直前にバタついてしまい大変申し訳ありませんでした。当日は多くのＯＢ会員にご参加を頂き、ゴルフを通して現役会員との親睦を深めることができましたことを大変うれしく思いました。

昭和五十七年より受け継がれている屑鉄集めでは多くの企業様からご理解・ご協力いただき、昨今のコロナウイルス感染症に加え材料費の高騰と厳しい中ではありましたが、多くの浄財をご提供いただき、ありがとうございました。会員数の減少によるトラックの台数が懸念されていましたが、多くの企業様、参加いただいた会員の皆様に支えられ、無事に事業を終えられましたこと、改めて感謝申し上げます。

そして、十二月に福祉・児童養護施設へ屑鉄集めによって得ることが出来た浄財を備品に換えて贈呈してまいりました。子どもたちや施設利用者の方々の笑顔に触れ、大変意義のあるボランティア事業と再認識いたしました。次年度以降も会の活動として継続していきたい気持ちが高まりました。

最後に委員長として一年間やり遂げられたのも、阿部会長をはじめ、会員の皆様のご理解・ご協力のお陰です。また、実行委員会の事業にご参加いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。

◆卒業生追い出しゴルフコンペ

二〇二二年四月二十三日㈯に、卒業生と現役会員による追出しゴルフコンペを柏崎カントリークラブにて実施いたしました。卒業生と新入会員を含めた現役会員とが楽しくプレーをし、気持ちよく卒業生を追い出すことができたと思います。

表彰式はクラブハウス内にて行い、懇親会を行うことは叶いませんでしたが皆様に喜んでいただけたと思います。

実行委員会として最初の事業で至らない点も多々ありましたが、皆様からご協

力をいただき無事に終えられましたこと、深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者　ゴルフ　十七名
　　表彰式　十八名
優勝者　清水　一裕　様

（真保　匠人・高坂　澪也）

◆夏季ゴルフコンペ

二〇二二年七月二十三日㈰に、夏季ゴルフコンペを長岡カントリー倶楽部にて実施いたしました。雨天でのプレーに加えて、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から懇親会を急遽取りやめる等、一部変則的に決行することとなりましたが、多くのＯＢ会員と現役会員の皆様から御参加いただき大変感謝しております。ゴルフを通して皆様との親睦が図れたことはもちろんのこと、変則時の臨機応変な行動やＯＢ会員との接し方等、新たな学びも得ることができました。直前までコロナウイルス感染症拡大対応に追われて、一部対応が遅れてしまいましたこと、お詫び申し上げます。

皆様の御理解と御協力のおかげで無事に事業を終えることができました。心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者　ＯＢ会員　二十一名
　　現役会員　十一名
　　参加者合計　三十二名
優勝者　渡辺　潤一郎　様

（門倉　侑大・小林　厚揮・水落　正樹）

◆屑鉄集め

昭和五十七年からスタートした伝統事業である屑鉄集めは、今年で四十回目の実施となりました。

当日は小雨が降る中での回収作業であり、さらには直前での班編成変更もあり皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなりましたが、会員十八名、屑鉄提供企業二十八社一団体、トラック六台の御協力を頂くことができ大変感謝しております。屑鉄集めの事業は、多くの企業様と会員に支えられ活動できていることを改めて痛感いたしました。

最後に事故や怪我等も無く、無事に作業を遂行できましたこと、屑鉄集めに対する御理解と御協力を賜った提供企業様、そして回収作業に参加いただいた会員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

（五十嵐　敏・大石　克輝）

◆福祉・児童養護施設寄付贈呈式

二〇二二年十二月十六日㈮、コロナ禍ではありましたが、訪問する人数をしぼり各施設へ目録の贈呈に伺ってまいりました。皆様から温かく迎えていただき大変喜ばしく思いました。

柿が丘学園様では、子ども達の沢山の笑顔を見ることができ、お礼に手作りの色紙を頂きました。目録の贈呈を行い、後日、贈呈した遊具で楽しそうに遊んでいる子どもたちの姿が届きまして嬉しく思いました。

もみの木工房つばさ様には、日々の作業で使われる作業用リフトテーブルや手摺り等を贈呈しました。所長と施設利用者代表の方からお礼の言葉を頂き、作業風景を見学させていただきました。

双葉寮様には、ソファー・洗濯機や知育玩具を贈呈し、寮長と寮生からお礼の言葉を頂きました。今回はコロナの影響で施設内を見て周ることは出来ませんでしたが、寮の生活状況を説明していただきました。

各施設の方より感謝の言葉を頂き、当会が屑鉄集めを継続していく意義を実感しました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

（門倉　侑大）

まつり委員会

委員長　中津山　隆博

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、規模と時間を大幅に縮小して開催されました「長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御」ですが、当会は諸般の事情により参加を見送りました。三年連続で神輿渡御が出来なくなり、非常に残念ではありましたが致し方無かったと思っております。次年度こそは参加出来ると信じております。

そこで今年度は「次年度長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御参加決起集会」と銘打ちまして、OB会員の皆様との交流を復活させました。神輿渡御が出来ない三年の間に、当会の顔ぶれも大きく変わりました。その為、OB会員の方々に現役会員の顔と名前を少しでも憶えていただき、神輿渡御の際はスムーズに事業が行えればと思っております。

新型コロナウイルス感染症対策の為、お酌の禁止を実施して懇親会を執り行いましたので、従来通りのコミュニケーションが出来ませんでしたが、結果的に感染者が出ることはありませんでしたので良かったと思います。

当日は会長不在という想定外の事態が起きましたが、現役会員が一丸となって、運営に協力していただき、大きなトラブルも無く無事に会を終えることが出来ました。

また、纏演舞で纏を振った方々には、毎週夜の練習に参加していただきました。当日はその成果を十二分に発揮出来たと思っております。

その他会員からは、ハイブ長岡からの神輿の移動や、ホテル会場への搬入・搬出にもお力添えいただきました。少ない会員での神輿の移動は非常に大変だったと思います。

皆様の御協力に深く感謝いたします。有難う御座いました。

決起集会のほかに、「新町ものづくりワークショップ」に参加しました。児童たちが工具を使い、一生懸命に組み立てている姿はとても新鮮でした。今回体験した事をきっかけに、「ものづくり」に興味を持ち、将来の長岡市製造業の発展に繋がれば、本事業はとても有意義な事だと思います。開催日時が平日の日中でしたが、沢山の会員の方々に御参加いただき有難う御座いました。

◆新町ものづくりワークショップ

九月二十二日に長岡市立新町小学校にて開催された「新町ものづくりワークショップ」に参加してきました。本年は恐竜のペン立ての製作を行いました。

始めに加工の様子を動画で児童にみてもらい、児童たちは真剣に動画を見て凄いといった声が出てきました。金属加工のことを知ってもらう良い試みになったと思います。工具を使って恐竜のペン立ての組立を体験してもらい、恐竜の手や尻尾を見本通りではなく自分好みのかたちに変える児童や、ペンやシールなどの装飾にこだわる児童もいて自由に楽しんでいた様子がとても印象に残っております。

恐竜のペン立て製作は初めてであり、板形状が複雑で曲げ作業工数が多いなど不安要素が多かったので、児童たちの製作時間は大丈夫だろうかという心配もありました。

しかしながら会員の皆様のご協力のおかげで、組立が終わらない子がいるといった事や、怪我などをすることも無く無事に終われました。

平日のお忙しい時間の中、多くの会員の皆様にご参加・ご協力いただき有難う御座いました。

参加者人数
新町小学校児童 四～六年生
第一部　十六名
第二部　十名
合計　二十六名
当会員出席者数　九名

（浅井　学）

◆次年度長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御参加決起集会

十一月十八日に「次年度長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御参加決起集会」をホテルニューオータニ長岡にて開催しました。

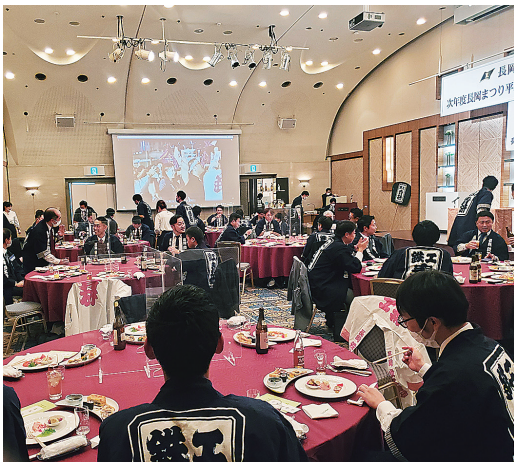
当会にとって初の試みということもあり想定外の事態も起きましたが、大きなトラブルもなく無事に会を終えることが出来ました。

内容としましては、株式会社広井工機代表取締役社長廣井晃様より「神輿渡御昔話」と題しましてご高話いただき、現役会員の顔を覚えてもらう為に青研ビンゴゲームを行いました。そして、新潟炎斗會様をはじめとした県内の纏名手との纏演舞共演で、OB会員の皆様と現役会員が一緒になって大いに盛り上がりました。今回の目的であったOB会員との交流と、現役会員の顔を覚えていただくことが出来たと思いますので、次年度の神輿渡御へ弾みがついたと感じております。

こうした成果を上げる事が出来たのも、会員の皆様からの御協力があったからだと思っております。厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

参加者人数
OB会員　二十三名
現役会員　二十二名
合計　四十五名

（中津山　隆博）



2023年度　長岡鉄工業青年研究会組織図

直前会長　阿　部　修　平

会　　長　清　水　一　裕

副 会 長　山　本　友　紀
　　真　保　匠　人

総務委員会　５名（担当副会長　山　本　友　紀）
　委 員 長　井　上　　航
　副委員長　本　田　恵　亮
　委　　員　小　林　厚　揮・鈴　木　敬　子・丸　山　栄　紀

渉外・研修委員会　５名（担当副会長　山　本　友　紀）
　委 員 長　髙　坂　　壮
　副委員長　池　田　成　輝
　委　　員　大　石　克　輝・高　坂　澪　也・水　落　正　樹

実行委員会　５名（担当副会長　真　保　匠　人）
　委 員 長　髙　尾　博　仁
　副委員長　村　山　　広
　委　　員　大　塚　淳　史・高　坂　　諒・田　中　祐　樹

まつり委員会　22名（担当副会長　真　保　匠　人）
　委 員 長　長谷川　雅　利
　副委員長　橋　本　直　輝
　委　　員　全会員

会　　計　浅　井　　学

会計監査　大　塚　淳　史

祝　ご卒業

五十嵐　敏
五十嵐工業　株式会社

石　田　和　人
株式会社　難波製作所

門　倉　侑　大
株式会社　Syse

中津山　隆　博
株式会社　中津山熱処理

（以上四名）

新入会員のご紹介

二〇二二年　四月以降入会

丸　山　栄　紀
サカエ板金　株式会社
〒九四〇－〇〇一六
長岡市宝一－二－四
℡〇二五八－二四－七七六七
℻〇二五八－二四－八〇一五
昭和五十九年六月二日生